



F C 岐阜 × Wings 交流会

Wingsは岐阜市長良の長良医療センターの筋ジストロフィーの入院患者らで結成された電動車椅子サッカーチームで、1998年に結成され全国大会でも優勝を経験した強豪チームです。F C 岐阜が2008年にJリーグに昇格したことをきっかけに、同じ岐阜の地で活動するサッカーチームということで交流企画が始まりました。昨年12回目の開催を迎えました。選手が電動車椅子に乗ってのドリブルやシュートに悪戦苦闘する姿に大きな笑い声や歓声が上がります。また毎年恒例のPK対決はとても盛り上がり、応援に来ているご家族の方々も笑顔にあふれています。最後は共にサッカーに打ち込むものとして互いの健闘を誓いエールを交換しています。

活動場所 : 独立行政法人国立病院機構 長良医療センター

取組テーマ : ⑥地域のコミュニティ

協働者 : ①企業, ③住民

協働者名 : 独立行政法人国立病院機構 長良医療センター、
電動車椅子サッカーチーム「Wings」

活動で工夫した点

出来るだけメディア等に取り上げてもらえるよう知名度の高い選手、試合で活躍している選手に参加を依頼した。

活動で大変だった(苦労した)ポイント

Wingsの参加者のなかには当日体調の都合で参加できない方がいたこと。

クラブや地域の活動後の変化

活動後は、クラブ側としては、サッカーに携わるものとしてより一層真摯に今後の活動に取り組んでいくという意識が出てきます。Wings側もF C 岐阜を応援しようという想いが強くなりました。



協働者の声

長良医療センターの作業療法士(Wings監督)の浅岡俊彰さんの声:
障がい者スポーツではなく、地元の同じサッカーチームとして参加してくれてうれしかった。

参加者の声

Wingsの選手: プロの選手とサッカーできて楽しかった。これからもF C 岐阜を応援するので、お互いがんばりましょう。

活動の「ここぞ!」というPRポイント

F C 岐阜がJリーグに昇格してから続く伝統の行事です。これからも互いに切磋琢磨して地元のサッカーを盛り上げていきます。

補足

交流会の終了後には、長良医療センターの病棟を訪問して入院している患者さんともふれあいなども行っています。